

奈良市指定管理者選定委員会 採点集計表

施設 の 名 称	奈良市都祁体育館
申請 団 体 の 名 称	奈良市総合財団

審査日 令和5年11月17日

可否審査

選定の基準	審査項目	各委員の審査								意見
		A	B	C	D	E	可の数	否の数	判定	
1 市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	① 市民による平等利用に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
	② 情報公開に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
	③ 法令遵守に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
3 事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	① 経理の適正性	適	適	適	適	適	5	0	適	
4 事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	① 施設の維持管理に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
	② 施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	

得点審査

選定の基準	審査項目	各委員の採点								配点		意見		
		A	B	C	D	E	平均	計	満点	比率	優れている点	劣っている点		
2 事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	① 施設の現状分析	6	8	8	4	6	6.4	32	120	50	200	40%		・情報発信力
	② 事業実施計画	6	8	8	6	6	6.8	34						
	③ 自主事業実施計画	6	2	6	6	4	4.8	24						
	④ 利用の促進、サービスの向上の方策	6	6	6	6	6	6	30						
3 事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	② 指定管理料の提案額	4	4	4	4	4	4	20	20	50	50	10%		
4 事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	③ 職員の配置、勤務体制及び研修計画	6	6	6	6	6	6	30	94	50	150	30%	・一定のノウハウの蓄積が見られる。	
	④ 類似事業の実績、ノウハウ	6	8	6	6	8	6.8	34						
	⑤ 財務状況の健全性	6	4	6	8	6	6	30						
5 その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	① 施設の設置目的に対する考え方	3	4	4	3	3	3.4	17	69	25	100	20%		
	② スポーツ振興に対する考え方	3	3	4	3	3	3.2	16						
	③ 施設の管理運営に対する熱意・意欲	3	3	4	4	4	3.6	18						
	④ 行政との連携	3	3	5	4	3	3.6	18						
合計点		58	59	67	60	59	60.6	303	303	500	500	100%		

【総評】

・奈良市総合財団は指定管理者として相応しいと判断します。
 ・昨年度財務状況をもとに検討していただき要求していただきます。
 ・施設の管理及び運営には、努力して頂いている。近年は、遠方からの施設利用者も増加して稼働率も上昇している。時代とともに変化するニーズに今後も対応してほしい。
 ・財団が管理している他施設と連携した振興事業に期待したい。

奈良市指定管理者選定委員会 採点集計表

施設 の 名 称	奈良市都祁生涯スポーツセンター等4体育施設
申請 団 体 の 名 称	奈良市総合財団

審査日 令和5年11月17日

可否審査

選定の基準	審査項目	各委員の審査								意見
		A	B	C	D	E	適の数	否の数	判定	
1 市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	① 市民による平等利用に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
	② 情報公開に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
	③ 法令遵守に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
3 事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	① 経理の適正性	適	適	適	適	適	5	0	適	
4 事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	① 施設の維持管理に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
	② 施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	

得点審査

選定の基準	審査項目	各委員の採点								配点			意見	
		A	B	C	D	E	平均	計	満点	比率	優れている点	劣っている点		
2 事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	① 施設の現状分析	6	8	8	4	6	6.4	32	124	50	200	40%		・情報発信力
	② 事業実施計画	6	8	8	6	6	6.8	34		50				
	③ 自主事業実施計画	6	4	8	6	6	6	30		50				
	④ 利用の促進、サービスの向上の方策	6	6	6	6	4	5.6	28		50				
3 事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	② 指定管理料の提案額	4	4	4	4	4	4	20	20	50	50	10%		
4 事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	③ 職員の配置、勤務体制及び研修計画	6	6	6	6	6	6	30	94	50	150	30%	・一定のノウハウの蓄積が見られる。	
	④ 類似事業の実績、ノウハウ	6	8	6	6	8	6.8	34		50				
	⑤ 財務状況の健全性	6	4	6	8	6	6	30		50				
5 その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	① 施設の設置目的に対する考え方	3	4	4	3	3	3.4	17	69	25	100	20%		
	② スポーツ振興に対する考え方	3	3	4	3	3	3.2	16		25				
	③ 施設の管理運営に対する熱意・意欲	3	3	4	4	4	3.6	18		25				
	④ 行政との連携	3	3	5	4	3	3.6	18		25				
合計点		58	61	69	60	59	61.4	307	307	500	500	100%		

〔総評〕

・奈良市総合財団は指定管理者として妥当であると思われる。
 ・昨年度財務状況をもとに予算立案し、必要なものは要求しても良い。
 ・施設の管理及び運営には、努力して頂いている。近年は、利用者の増加傾向である。時代とともに変化する利用者ニーズを捉えて施設稼働率の向上に取り組んでほしい。
 ・財団としてのスケールメリットをどのように活用するのか具体的な方策について期待したい。